

指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策（令和3年度）

1 概要

施設名	吹田市立千里山竹園児童センター	所管部室課名	児童部子育て政策室
実施日時	令和4年1月21日（金曜日） 13:30～15:20	実施場所	吹田市立千里山竹園児童センター 集会室

2 助言等の内容及び対応策

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
1	コロナ禍における児童センターの事業運営について、感染症対策に関して様々な工夫がされている。緊急時における管理運営協議会内でのリモート会議の導入等が今後の課題と思われる。	コロナ禍における管理運営協議会役員会の開催につきましては、書面開催とすることで感染症拡大防止に努めているところです。リモート会議につきましては、一部設置環境が整わない状況であることから導入には至っておりませんが、緊急時において、より柔軟に対応できるよう導入を検討してまいります。	1 管理運営内容 (1)事業運営 ア 施設の設置目的に合致した主催事業(委託事業)を適切に実施している。 イ 施設の設置目的に合致した自主事業を適切に実施している。
2	児童センターの事業運営に関して、地域住民がボランティア等として積極的に参加しており、地域に根差した児童センターとして存在している。		
3	児童センターの取組みの一つとして実施している子供会議について、子供の自主性の向上に繋がっている。		
4	児童センターにおいて、省エネルギー、資源の再利用の意識が、職員全体で共有されている。		1 管理運営内容 (3)環境配慮 ア 省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。
5	児童センター利用者が安心して施設を利用できるよう感染症対策を十分に行っていることが利用者満足度を高めていると感じる。		2 利用者満足度 (2)利用者サービス ア 利用者サービス向上及び利用促進を図るための取組を行っている。

6	①児童センター利用者に対して丁寧に向き合い対応しているため、利用者アンケートにおける利用者満足度が高い。 ②今後の市の課題と言えるが、児童センターのニーズの把握に関し、とりまく環境の変化において、児童センターを利用していない家庭層のニーズまでは把握し難い現状がある。	②市と指定管理者が協力し、魅力のある催しや取組み等を行うことにより、未利用者を含め、児童センターのさらなる利用促進を図ります。児童センター利用者の拡大に努め、児童センターに対するニーズの把握に繋げてまいります。	2 利用者満足度 (2)利用者サービス ウ 利用者アンケート等、利用者ニーズの把握を行い、サービスの向上に向けて取り組んでいる。
7	①コロナ禍により臨時休館等の急な対応が必要な場合において、ホームページを頻回に更新するなど児童センターに関する情報発信に努めている。 ②ホームページを活用するなど利用者の立場に立った案内方法を採用している。 ③ホームページを活用した情報発信が有効であると判断できる。		2 利用者満足度 (2)利用者サービス エ 施設の利用案内や事業の開催案内をパンフレットやホームページ等により、適切に行っている。
8	①児童センターの事業運営に関して、ボランティアの活用や地域住民の協力による経費節減に努めており、安定した運営が行われている。 ②地域の協力を得ながら、安心安全をおろそかにせず、サービスの提供を継続して行うことができる事業運営を行っている。 ③児童センターの管理運営に関して、備品管理は適正に台帳管理されており、物品購入処理に関しても問題は無く、適切であると認められる。		3 サービス提供の継続性及び安定性 (1)施設の管理運営に係る経営状況 ア 施設の管理運営に係る経営状況が健全であり、継続的かつ安定的なサービス提供が可能である。